

奈良市社会的養護自立支援拠点事業委託に係る公募型プロポーザル 審査項目

審査項目		指標	評価の視点
1. 団体の運営能力	業務理解	企画提案書、説明、質疑応答等	施設等の入所児童・退所児童の状況及び本事業の趣旨について十分に理解しているか。
	信頼性・実績	団体概要書	団体は本事業を実施するために十分なノウハウや実績を有しているか。
	会計管理	決算書、見積書	会計管理は適切であり、安定した事業運営が期待できるか。
	業務遂行力	実施体制調書	担当者の資質・経験、人員配置は適当であり、当該業務に専念できる時間が十分あるか。
	SV・研修体制	企画提案書、説明、質疑応答等	SV体制・研修体制が十分にとられ、担当職員の資質向上に資する内容となっているか。
	個人情報の適切な管理、リスク管理		個人情報を適切に管理できる体制がとれているか。また、組織としてリスクを想定し、管理する体制がとれているか。
2. 支援内容	相互交流の場の提供	企画提案書、説明、質疑応答等	実施方法・体制は適切か。支援対象者が心理的・物理的に安心して過ごせる工夫がされているか。
	措置解除をひかえた者に対する支援		解除を控えた者に対して、衣食住・就職・進学等、自立を見据え準備するために効果的な支援が期待できるか。
	措置解除者等への支援		解除者等に対して、自立生活を維持するために効果的かつ継続的な支援が期待できるか。
	関係機関連携		児童相談所、施設等、市役所の関係課やその他民間の社会資源を含む支援機関の役割を理解し、必要な資源につなぎながらフォローアップも含めた支援に取り組む姿勢を有しているか。
	一時避難的かつ短期間の居場所提供		迅速に受け入れ体制を整え、個別のニーズに応じた柔軟かつ効果的な支援の提供が可能か。
	支援方法		通所による支援の他、SNSの活用やアウトリーチ等、支援対象者のニーズに合わせた支援方法の工夫がされているか。
	必要な情報の提供		支援対象者の自立に効果的な情報を分かりやすく提示する工夫がされているか。
	関係性の構築		支援対象者との信頼関係を構築し、支援対象者が安心して利用できる工夫がされているか。
	効果測定		支援の効果について定期的に検証・改善していく体制が取れているか。
	当事者意見		支援対象者の意見を聴き、支援に反映させる仕組みは体制が取れているか。
3. ハード面	設備・環境	図面・設備・場所	支援の実施場所（事務所・相談室等）は、十分な設備・環境が整っているか。
	利便性		支援の実施場所（事務所・相談室等）へのアクセスは、支援対象者にとっての利便性に配慮できているか。
4. 実現性	実現性	企画提案書、説明、質疑応答等	提案内容は具体性、実現性を有しているか。
	事業経費	見積書・積算内訳	見積額は内容に対して妥当か。積算内訳に偏りはなにか。